

公立佐賀中央病院経営強化プラン（案） 概要版

第1章 経営強化プランの策定にあたって

1 経営強化プラン策定の経緯

医師・看護師等の医療資源の不足、人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度専門化など経営環境の急激な変化

⇒これらに対応した「持続可能な地域医療体制の確保」が必要。

2 計画の期間

令和7年度から令和9年度

第2章 多久市立病院、小城市民病院、公立佐賀中央病院の概要

多久市立病院

診療科目：内科、消化器内科、外科、整形外科ほか（全16診療科）

病床数：105床（一般60床、療養45床）

小城市民病院

診療科目：内科、循環器内科、呼吸器科、外科ほか（全12診療科）

病床数：99床（一般99床うち地域包括ケア15床）

公立佐賀中央病院



位置：多久市東多久町大字別府 3562番地

建物規模：地上4階、ヘリポート階

病床数：140床

（一般95床、療養45床）

関連施設：健診センター

訪問看護ステーション佐賀中央

診療科目：内科、消化器内科、肝胆膵内科、糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、麻酔科、リハビリテーション科（全20診療科）

第3章 経営強化プランの内容

1 役割・機能の最適化と連携の強化

病床機能報告病床数(2022年度)と佐賀県地域医療構想における必要病床数(2025年)との比較

医療機能	2014 (構想策定時)	2022	2025 (必要量)
高度急性期	187	303	372
急性期	2,730	2,188	1,168
回復期	437	1,011	1,430
慢性期	1,532	1,193	855
病床合計	4,886	4,695	3,825

地域に密着した公立病院として、地域住民の健康保持に必要な医療を提供し「信頼される温かい医療で地域に貢献します」を基本理念として、次の役割を担う。

- 急性期・慢性期機能病床の継続
- 地域医療の水準を維持向上させる病院
- 救急医療の確保
- 地域災害拠点病院としての機能の充実
- 新興感染症対策

2 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ 医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保と人材育成
- ・ 医師の働き方改革への対応

3 経営形態の見直し

- ・ 地方公営企業法の全部適用

4 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- ・ 新型コロナ等の新興感染症に対しては、引き続きこれまでの取組を継続し、医療従事者の感染症に対する研修、人材育成に努めていく。

5 施設・設備の最適化

- ・ 維持管理費の節減
- ・ 医療 DX の推進及びセキュリティ対策の強化

6 経営の効率化等

- ・ 外来患者の増加、病床利用率の向上
- ・ 診療報酬の増収
- ・ 人件費及び費用の適正化
- ・ 医療従事者の確保
- ・ 在宅医療の強化
- ・ 健診事業の強化